

北海道立学校ふるさと応援事業実施校一覧

管内	学校名	事業名	事業内容	必要性
十勝	帯広三条高等学校	SDGsの視点を取り入れ地域と協働する十勝らしい生徒一人一人の学びの実現	ICT機器の活用や整備、著名人による講演等を通して、十勝の自治体や企業が抱える課題や地球規模で問題となっていることを、高校生の視点からSDGsの考え方をういて解決する教育活動を充実する。	確かな学力の育成とPDCAサイクルに基づく授業改善が喫緊の課題である。時代の変化はもとより、地域のニーズに対応した教育活動の充実を図り、SDGsの視点を取り入れ、生徒が主体的に学習に取り組む質の高い教育を目指す。
十勝	帯広農業高等学校	農産加工実習室の環境充実	安全安心な環境で作業効率や品質向上に繋がる農産加工実習が行えるよう農産加工実習室へエアコン整備	現在の農産加工実習室には、エアコンが設置されておらず、特に夏季の実習効率や製造する加工品に制約がある状況である。年間を通じて安定した環境で実習を行える環境に改善し、作業効率と品質を向上させる実習活動の充実を図る必要がある。
		農業経営者育成寮の生活環境の充実	将来の農業経営者を目指し学ぶ生徒のための農業経営者育成寮の生活環境の充実	育成寮で学ぶ生徒は将来の農業経営者を目指し早朝から夕方までの実習に加え、通常の学校生活や部活動等を行っており、健康増進や事故防止だけではなく、質の高い農業教育をサポートするため、質の高い睡眠をとれる環境が必要である。
十勝	幕別高等学校	閉校記念事業「人と思いをつなぐプロジェクト」	令和3年3月の閉校に当たり、道内外の幕別高校にゆかりのある人たちをつなげるプロジェクト（モザイク壁画の作成と、花文字の作成、卒業生と併設校生徒への著名人の体験的な講演）	72年間の幕別高校の歴史と6,800名の卒業生の思いを残すことを計画しているが、校内の教育機器では十分な活動ができず、また、最後の卒業生と中札内養護幕別分校の生徒たちに、オリンピックの講演を実施したい。
十勝	本別高等学校	総合的な探究の時間「とちか創生学」	本別町の特産品の開発（地域の農産物を活用した商品）、地域課題についての調査研究及び生徒と地域との協働による解決策の立案・提言	地域に唯一の高等学校として果たす役割の一つは、次代の地域を支える人材の育成であり、そのためには、商品開発や地域課題の解決など、正解のない課題に対し最適解や納得解を見出す学習活動を地域との協働により行い、課題解決能力や創造力、協働力等を育成することが必要である。